

国立大学法人広島大学入札監視委員会定例会議議事概要 — — — — —

開催日及び場所	平成27年1月23日(金)10:00～12:00 広島大学東千田キャンパス S113会議室	
委員	委員長 荒木 秀夫 (大学教授) 委 長 胡田 敢 (弁護士) 委 員 奥 兆生 (公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成25年10月1日 ～ 平成26年9月30日	
抽出案件(合計)	4 件	(備考)
工事(小計)	2 件	今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼は なし
一般競争 (政府調達協定対象工事)	1 件	
一般競争 (上記工事を除く)	1 件	
公募型指名及び 工事希望型競争	0 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務	2 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申、 又は勧告の内容	なし	

別紙

質問	回答
<p>1. 広島大学において発注した建設工事について (事務より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>2. 広島大学において発注した設計・コンサルティング業務について (事務より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>3. 指名停止等の措置状況について (事務より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>4. 審査対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について (委員長より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>(1)一般競争入札方式 【広島大学(震)医療支援センター等改修その他工事】</p> <p>・総合評価の評価のウエイトについての振り分けはどのようになっているか。</p> <p>・応札者が1者となった要因は何か。</p> <p>・当該工事は分離発注を行っているか。</p> <p>(2)一般競争入札方式 【広島大学(震)震ファミリーハウス(仮称)新営工事】</p> <p>・1課題に対する技術提案数は5提案と決められているか。</p> <p>・工事成績とは何か。</p> <p>(3)設計・コンサルティング業務 【広島大学(東千田)知的人材育成センター(仮称)新営</p>	<p>・30点は課題1～3、10点は課題4に対する配点である。</p> <p>・公共事業の増加により、技術者が不足しているためと思われる。</p> <p>・建築工事、電気設備工事及び機械設備工事の3に分けて発注している。</p> <p>・最大で5提案できる。</p> <p>・工事が完了した後に、その工事内容について評価し点数を付けたものである。基準は国交省が定めている。</p>

設計業務

・応札者を5者に絞る時の基準は何か。

・評価点数の上位5者を選定している。なお、非特定理由として比較的点数の低かった項目を挙げている。

・課題はどこに明記してあるか。

・公示(入札説明書)に明記してある。

(4)設計・コンサルティング業務

【広島大学(工)実験研究棟A等改修設計業務】

・公示に課題が明記されていない理由は何か。

・入札説明書に明記している。今後は公示にも記載するよう記載方法を統一する。

・同様の設計を同一の会社が連続で受注することにより、その会社が落札する確率が上がる可能性があるか。

・今後、検証することとする。

<p>6. その他 再苦情の申立状況について (事務より説明)</p> <p>・特になし</p>	
--	--